

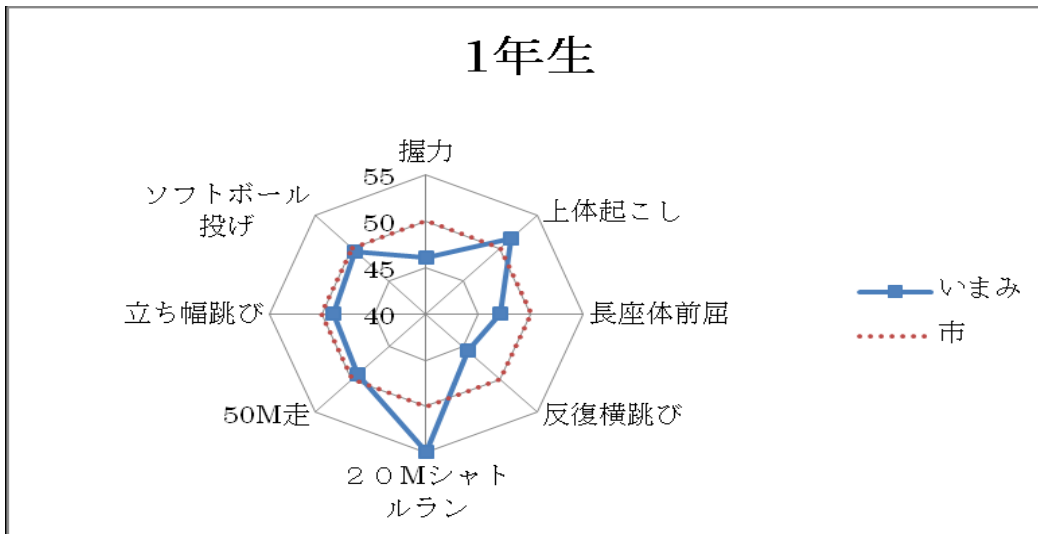
## 平成26年度 体カテストの結果分析

### 1. 児童の実態

今年度（H26年度）の体カテストの結果を分析した結果を次のようにまとめた。

#### 《学年別にみる児童の実態》

##### 【1年生】



##### 【グラフからわかる主なこと】

○全国・市の平均よりも20mシャトルランの記録がよい。

→日頃の様子から、かけっこ好きが多いことがわかる。幼保で走る活動を積極的に行っていたのではないかと考えられる。

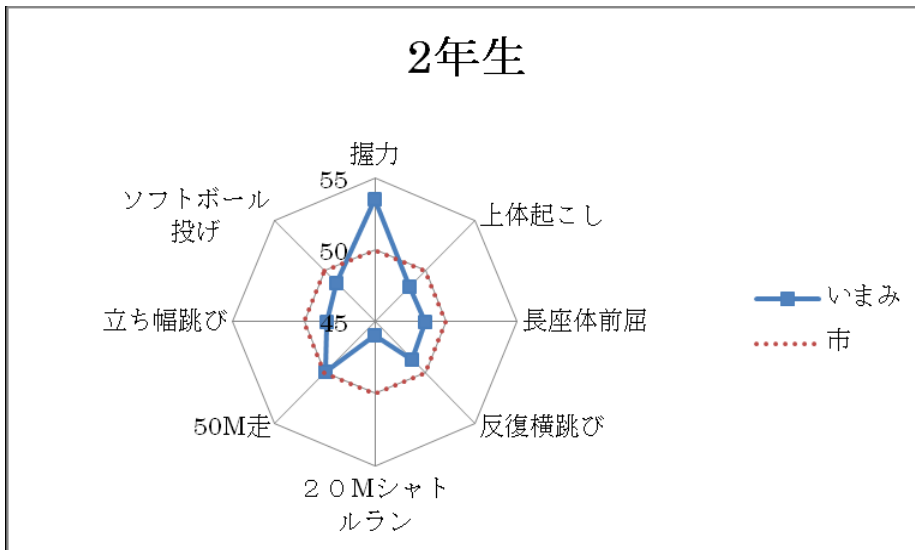
●ボール投げの記録が平均を下回っている。

→地域のスポーツクラブに所属している子以外は記録が低くなる。

●握力が全国、横浜の平均より低い。

→力の入れ方がわかっていない、力強さを発揮する運動を足りていないといったことが考えられる。

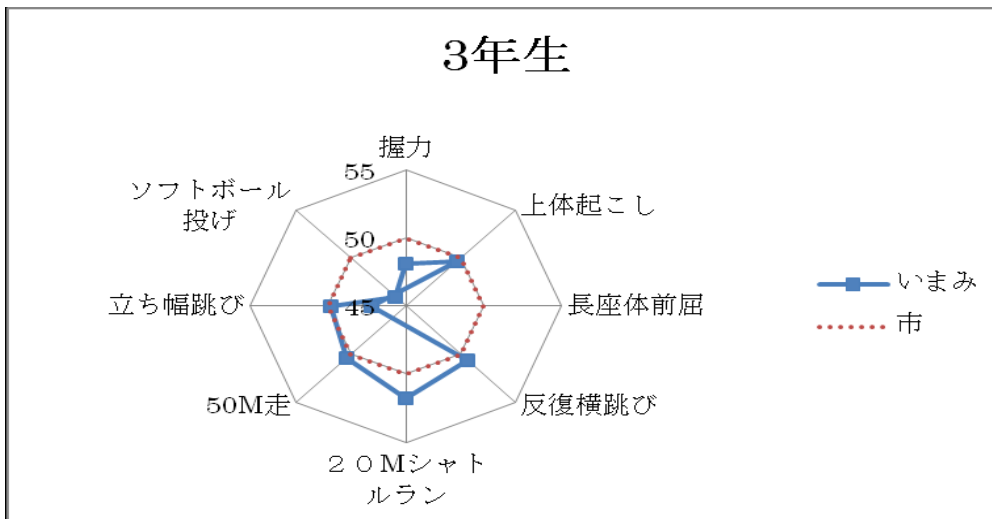
## 【2年生】



## 【グラフからわかる主なこと】

○市の平均を下回っている種目がほとんどであるが、市の平均と大きな差はない。  
○20mシャトルランの記録が市の平均を下回っている。

## 【3年生】

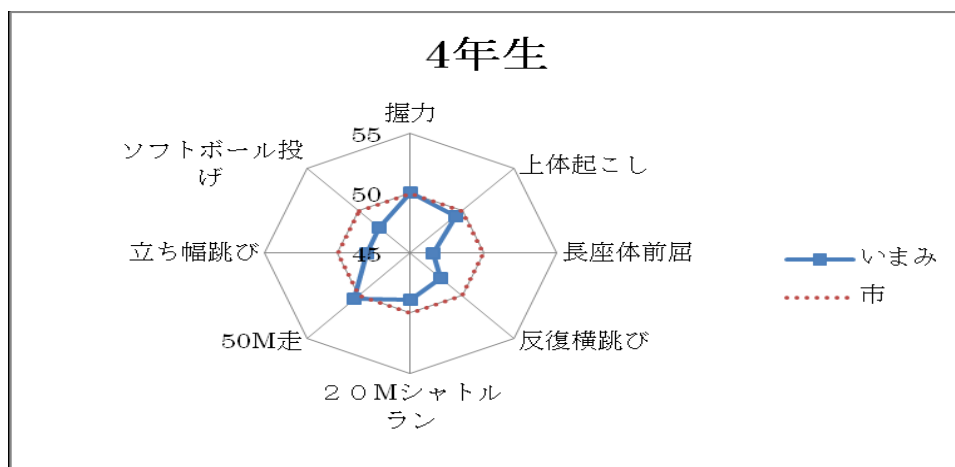


## 【グラフからわかる主なこと】

○長く走る力（持久力：20mシャトルラン）は市平均よりやや上回る。  
→3年生は毎年クロスカントリー大会にむけた朝練に参加する児童が多いことが関係していると考える。  
●短距離走（50m走）の記録は市の平均を下回っている。  
●ソフトボール投げ（投げる力）が市平均よりも2m近く下回っている。  
→休み時など、ドッジボールはしているが、学校外での習い事はサッカーをしている子が多い。ドッジボールだけでは投げる力は育っていかない。  
●長座体前屈が市平均よりも9cm近く、下回っている。  
→体育のマット運動でもそれぞれの技がきちんとできていないことがみられる。体育の授業での準備体

操、慣れの運動を徹底するとよい。

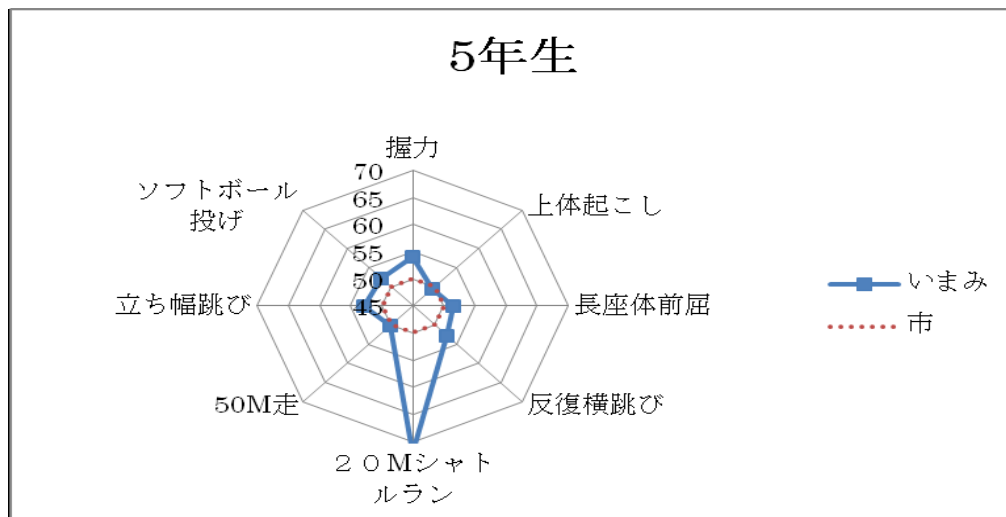
### 【4年生】



### 【グラフからわかる主なこと】

- 上体起こし、20mシャトルランなど、筋力・持久力に関する項目は平均に近い、  
→学校全体で取り組んでいるクロスカントリー大会に向けた朝練が関係していると考える。
- どの種目も市の平均を下回っている。  
→外遊びを好む児童が特定され、中遊びを好む児童も多い。また、地域のクラブ参加率も低い。あきらめがはやい性格の児童が多いことも関係しているのではないかと考える。
- 特に立ち幅跳び、長座体前屈が低い。  
→体づくりの分野が弱い。多様な動きを知らず、使っていない部位が多いと考える。また、体がかたい児童が多く、給食の偏食や残しが多いことも気になる。

### 【5年生】



### 【グラフから主なわかること】

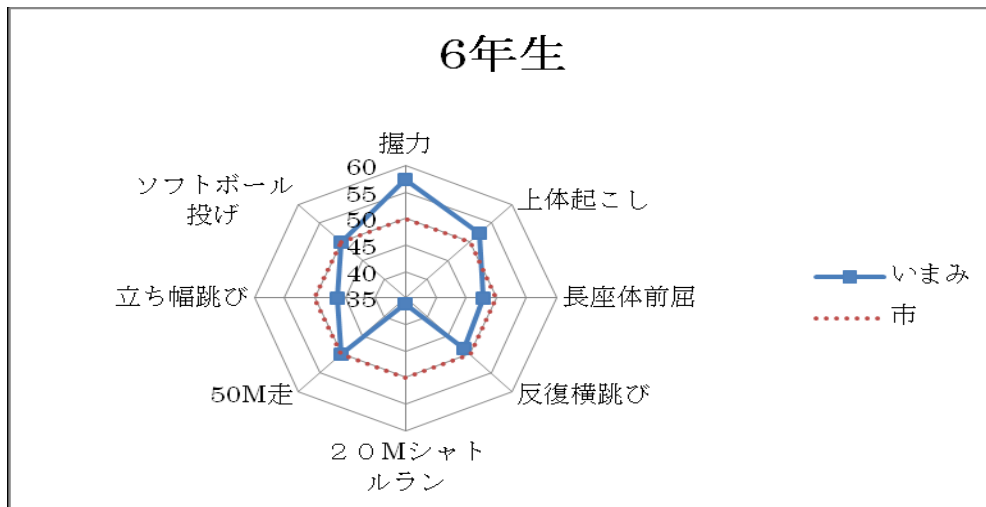
○男女ともに、そして学年としても市の平均を上回っている種目（立ち幅跳び、20mシャトルラン）が多い。上回ってなくても市の平均と同じくらいの記録が出ている。

→地域のスポーツクラブに参加している児童が多い。中でも前進を動かす水泳が一番多く、ほかにもサッカーなどを習っている子が多くいる。

○20mシャトルランの市の平均が46.22回に対し、学年の平均は68.39回と大きく市の平均を上回っている、

→シャトルランで好記録を残している児童は全員クロスカントリー大会の朝練に参加し、知育のスポーツチームにも所属している。

### 【6年生】



### 【グラフからわかる主なこと】

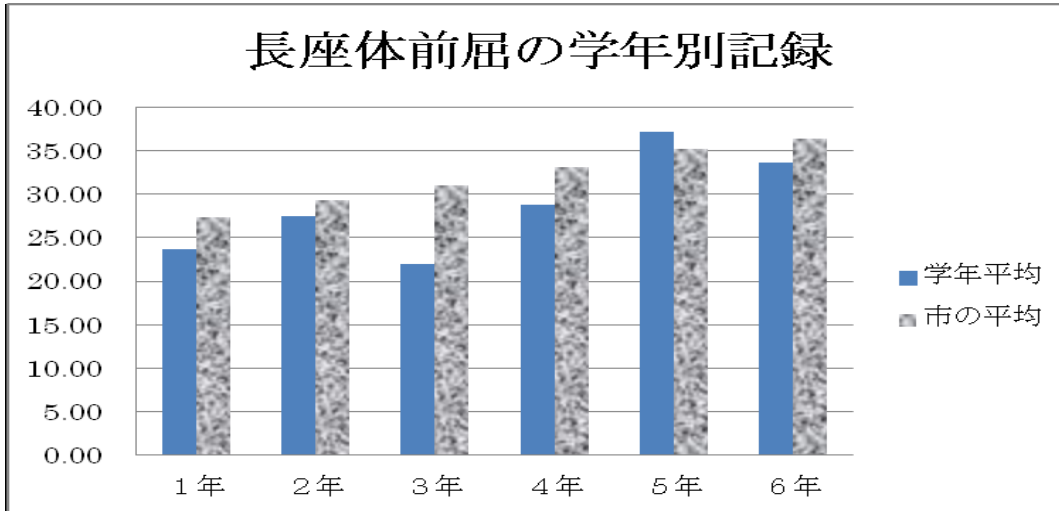
○握力、上体おこしの記録が市の平均を上回っている。

→6年生の学年平均身長が147.75cmと市の平均である145.61cmを上回っている、体が大きく成長したことに伴い、筋力をつけているのではないか。

●立ち幅跳び、20mシャトルランの記録が市の平均よりも大きく下回っている。

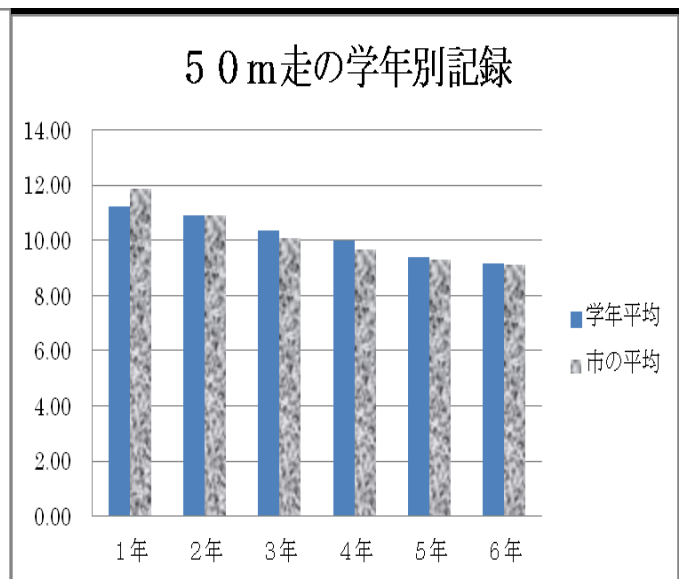
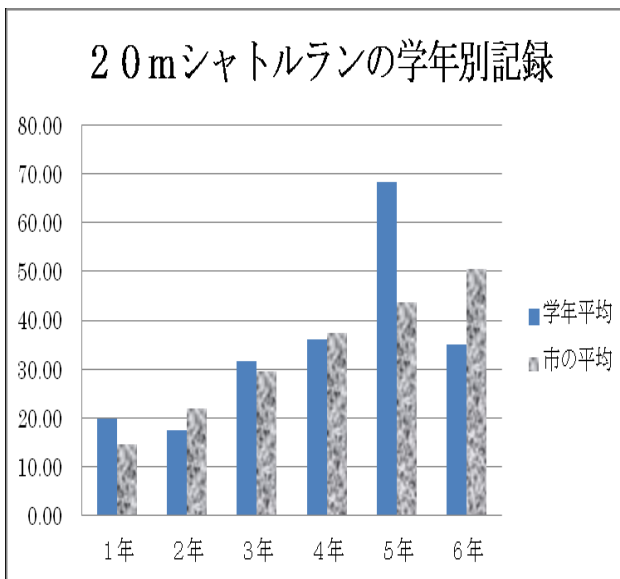
## 《全学年を通して》

●長座体前屈だが、5年生以外の学年全て市の平均を大きく下回っている。（下図参照）



○20mシャトルラン（長い時間走る力）と50m走（速く走る力）、どちらも走る種目であるが、市の平均と学年平均を比べたときに20mシャトルランの方がよい記録が出ている。

→毎年、クロスカントリー大会にむけて朝練を行っていることの効果かできていると考える。



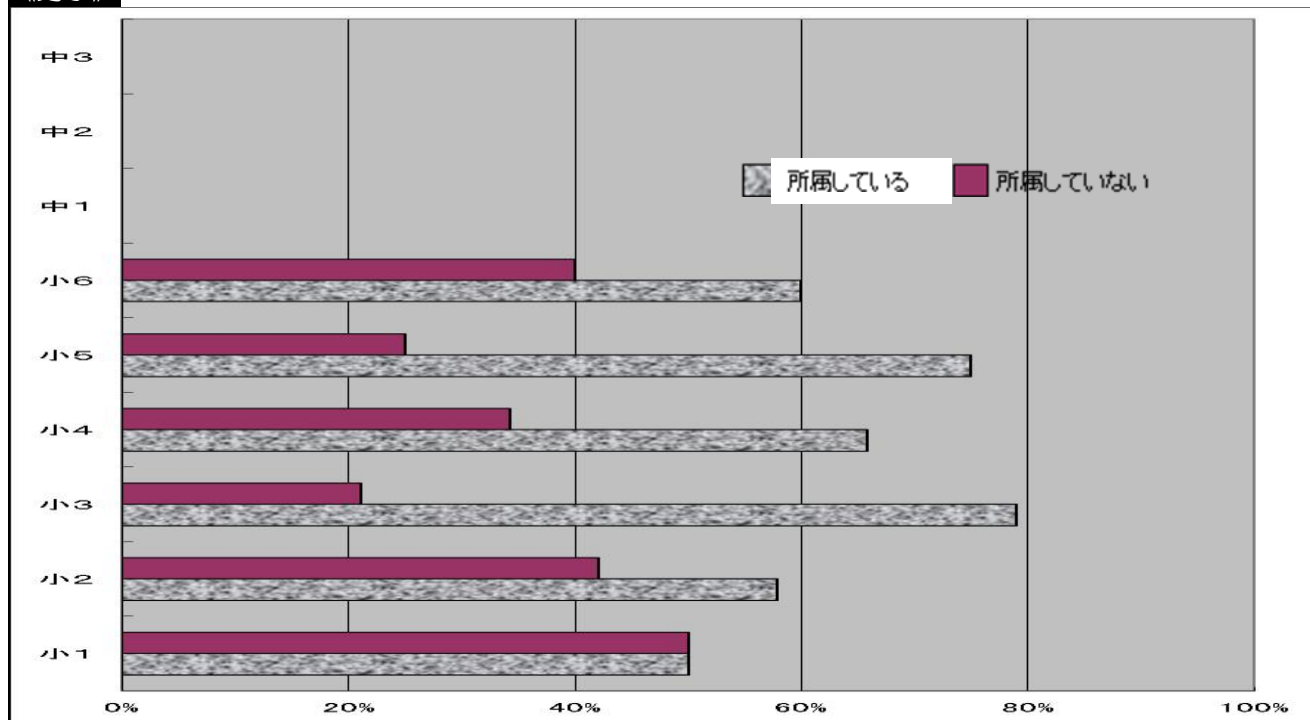
※50m走の記録は棒グラフの数値が低ければ低いほどよい記録である。

資料① 《昨年度のクロスカントリー朝練参加率》 ※昨年度のデータ

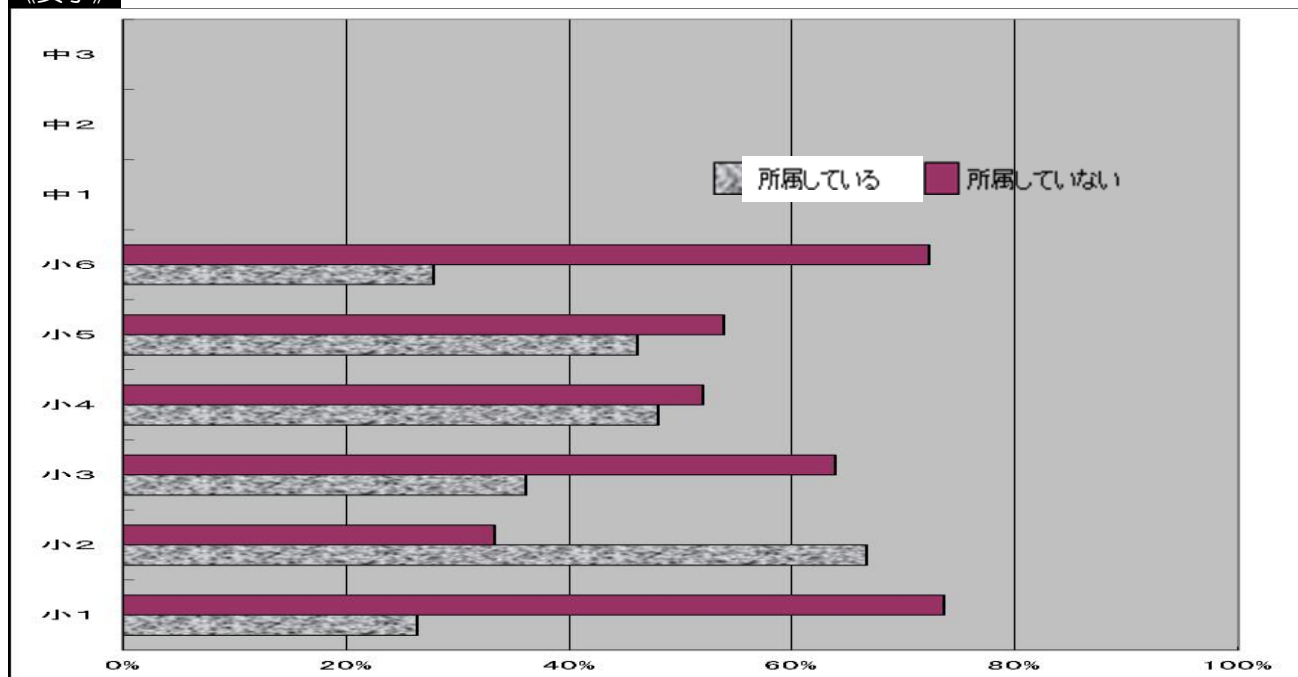
現在の学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
参加率		59.5%	64.8%	53.4%	38.6%	55.3%

資料② 《運動部や地域スポーツクラブへの所属状況》

《男子》



《女子》



◎資料①②からクロスカントリー朝練への参加率が高い3年生は20mシャトルランでもよい記録を出している。反対に朝練参加率の悪い5年生が20mシャトルランでよい記録を出しているのは、地域のスポーツクラブに参加している割合が高いということが関係していると考えられる。他にも5年生の特定の上位記録の児童が平均を大きく上回ることによって全体の数値を伸ばしていることが5年生全体の記録がよいことにつながった。また、20mシャトルランで市の平均を超えている1年、3年、5年の共通点として、放課後積極的に校庭に遊びくるなど日頃、体を動かす経験が多く、また体を動かすことが好きであるからだと考える